



中央公民館だより 11月号

発行：鹿児島市中央公民館 発行日：令和7年 11月1日

〒892-0816 鹿児島市山下町5-9

TEL：224-4528 FAX：224-4529

地域公民館の公民館だより

鹿児島市ホームページ (<http://www.city.kagoshima.lg.jp>)



まどいに和み 学びを生かす 伝統と文化の中央公民館
～「安心」・「安全」・「笑顔」でキラリ輝く98年の歴史と伝統～

昭和2年（1927年）10月16日

主幹 川 野 真早志

この日は、中央公民館（当時の名称は鹿児島市公会堂）の落成式が行われた日です。鹿児島新聞（現南日本新聞）は「市公会堂落成式 近代式の一大建築 =文明都市の必要機関=」という見出しで大々的に伝えています。午前10時30分に始まった式では、まず市長や市会議長などの式辞や祝辞が読み上げられました。その後の舞台開きでは能が舞われ、「約1300人の出席者の拍手が鳴りやまず、めでたい次第だった」とあります。続いて宴会に移ると、「出席者は気持ちよく祝杯を挙げ、歓談を交えた後、万歳を三唱し、12時30分に散会した」とあります。市民が一堂に会し、様々な会合を催すことのできる念願の施設ができたことを祝福している様子が伝わってきます。

先日、98歳を迎えた中央公民館。戦後、公会堂から中央公民館と名称は変わりましたが、今も変わらず地域の皆様の交流の場として親しまれています。令和9年には100歳の誕生日を迎えます。威風堂々としたたずまいは、開館当時のままです。昭和2年の落成式当日に負けないくらいの熱量で、開館100年の節目を笑顔あふれる地域の皆様とともに盛り上げてまいりましょう。

自主・利用学習グループ紹介⑤ 「女声合唱団さつま」

来年、結成50周年を迎える「女声合唱団さつま」。毎週火曜の14時から16時まで、舞田靖代先生の熱のこもった指導を受けています。そのうちの第2、第4火曜日が中央公民館での練習となります。

この8月には、山形で開催された「おかあさんコーラス全国大会」に推薦され、選考委員奨励賞をいただくことができました。これを励みに、来年の50周年記念演奏会を成功させるべく、皆で頑張っているところです。

80歳以上が過半数を超え最高齢は92歳。でも声を聴いたら「嘘でしょ！若い声だねえー」と言われます。一緒に歌ってみませんか？若返ること間違いなしです。



地階ギャラリー作品展より

10月14日（火）から10月27日（月）まで、「ききょう会」（書道）の皆様のすばらしい作品が展示されました。寄せられた感想の一部を紹介します。また、次回展示される学習グループの日程をお知らせします。

- 文字の美しさもさることながら、書かれている言葉も味わい深く、すばらしい学びをされている証だと思い、見させていただきました。
- 一言一言、心にしみる言葉の数々、そして墨によるやさしい字、たくましい字、自分もしたくなりました。
- 各々の皆さんの作品が素敵です。書の中の言葉の力に癒されました。



次回展示のお知らせ

あざみ会【ちぎり絵】

〈期 間〉

11月10日（月）～11月24日（月）

ちぎり絵の華やかな世界をぜひご堪能ください。

はばたけ、薩摩っ子⑤

中洲小学校

町中でのお米作り

中洲小学校では、毎年5年生が総合的な学習の時間に、米作りを行っています。校内の一角に、50㎡ほどの広さの実習田があり、そこで、田植え、稲刈り、脱穀といった稲作体験を行います。子供たちはこの経験を通して、生産の苦労を実感したり、命を大切にいただく「食」への姿勢を見直したりします。11月には、稲刈り、脱穀を行い、12月には収穫した「中洲米」でおにぎりパーティーを開催する予定です。また、米に関するテーマを設定し、詳しい人に話を聞いたり、本やインターネットで調べたりして、課題追究を行っています。



中央地域家庭教育研修会

10月2日（木）中央地域家庭教育研修会を開催しました。幼稚園、小学校、中学校の保護者や先生方87人が参加しました。テーマは「心豊かにたくましく生きる子供たちをはぐくむための家庭教育のあり方について」でした。全体会では、辻ヶ丘幼稚園、名山小学校、坂元台小学校、甲東中学校の実践事例が発表されました。引き続き行った分科会では、「保護者間の縦・横のつながりを深め、広げる手立てはどうあればよいか」などについて、活発に意見交換がなされました。

【参加者の感想より】

- ほかの園・学校の具体的な事例をうかがうことができ貴重な時間だった。指導助言の「よりよい選択をできるように導く」という言葉も心に残った。
- 引継や開催内容等、各校課題を抱えているが、解消に向けて取り組んでいることを聞いてとても参考になった。
- 他校の保護者と話す機会がなかなかないのでとてもよい機会だった。子供や先生との付き合い方、つながることの大切さを考えるきっかけとなった。